

令和5年度 沖縄群島 病害虫発生予報 第4号（7月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年6月29日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	ほぼ平年並

○7月の発生予報（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			6月の発生量 (平年比)	6月からの 増減	7月の発生量 (平年比)	
カンショ	①	イモキバガ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	トリバ類	やや多	↗	やや多	例年の発生量の推移（↗）
さとうきび	①	バッタ類	並	↘	やや少	平年の発生量の推移（↘）
（温州みかん）	①	そうか病	並	↘	並	平年の発生量の推移（↘）
	②	黒点病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③	ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
（タカシカ）	①	かいよう病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	黒点病	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	③	ミカンハモグリガ	並	→	並	平年の発生量の推移（→）
	④	ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
マンゴー	①	ハダニ類	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○7月の発生予報つき（沖縄群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			6月の発生量 (平年比)	6月からの 増減	7月の発生量 (平年比)	
オ ク ラ	①	フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）
	②	チョウ目幼虫	やや多	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予察の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（沖縄群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
（ 温 州 か ん み き か つ ）	カイガラムシ類	一部のほ場でカイガラムシ類の発生が見られた。果実に発生すると、排泄された甘露にすす病が発生したり、定着した部分が着色不良、肥大阻害を引き起こすことで、外観が損なわれるため商品価値を低下させる。低密度に抑えるため、早期発見・防除に努める。
	ゴマダラカミキリ類	北部地区の病害虫防除員報告によると、例年よりも発生が早かった。7月頃まで成虫が羽化するので、薬剤による防除に努める。
（ タ か ん か き ん つ ）	カイガラムシ類	一部のほ場でカイガラムシ類の発生が見られた。果実に発生すると、排泄された甘露にすす病が発生したり、定着した部分が着色不良、肥大阻害を引き起こすことで、外観が損なわれるため商品価値を低下させる。低密度に抑えるため、早期発見・防除に努める。
	ゴマダラカミキリ類	北部地区の病害虫防除員報告によると、例年よりも発生が早かった。7月頃まで成虫が羽化するので、薬剤による防除に努める。
マ ン ゴ ー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ ・ハマキガ類、シャクガ類	一部調査ほ場でナカジロフサヤガの発生が見られた。 ガ類幼虫は新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	一部施設ではカイガラムシ類の発生がみられた。 カイガラムシが果実に発生すると、吸汁害やすす病の発生など、外観を損ない商品価値を低下させることから、早期発見・防除に努める。
オ ク ラ	カタツムリ類	樹上に移動し、葉を食害する。樹上に移動すると防除が困難になるため、定植前や作物にかからないようにほ場周辺に登録農薬を処理し、密度低減する。樹上に移動した場合は捕殺に努める。

令和5年度 宮古群島 病害虫発生予報 第4号（7月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年6月29日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	ほぼ平年並

○7月の発生予報（宮古群島）

作物	病害虫名	調査結果	予報		予報の根拠
		6月の発生量 (平年比)	6月からの 増減	7月の発生量 (平年比)	
マンゴー	① ハダニ類	並	→	並	平年の発生量の推移（→）

オクラ	① フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↗	並	平年の発生量の推移（↗）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（宮古群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ・ハマキガ類、シャクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。
オクラ	カタツムリ類	樹上に移動し、葉を食害する。樹上に移動すると防除が困難になるため、定植前や作物にかからないようにほ場周辺に登録農薬を処理し、密度低減する。樹上に移動した場合は捕殺に努める。

令和5年度 八重山群島 病害虫発生予報 第4号（7月予報）

○向こう1か月の天候の見通し（令和5年6月29日発表：沖縄气象台）

平均気温	降水量	日照時間
高い	平年並か少ない	ほぼ平年並

○7月の発生予報（八重山群島）

作物	病害虫名		調査結果	予報		予報の根拠
			6月の発生量 (平年比)	6月からの 増減	7月の発生量 (平年比)	
マンゴー	①	マンゴーハフクレタマバエ	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）
	②	ハダニ類	多	↑	やや多	平年の発生量の推移（↑）
オクラ	①	フタテンミドリヒメヨコバイ	並	↑	並	平年の発生量の推移（↑）
	②	チョウ目幼虫	並	↓	並	平年の発生量の推移（↓）

※発生量は、ほ場調査の結果の平年値または例年値の同月比。

- 平年値：過去5～10年間の発生量の平均値
- 例年値：過去3～4年間の発生量の平均値

※（発生なし）は、今回の調査中に観察することができなかった病害虫。

※増減傾向は、発生量（現況）と比較した翌月の増減を予測している。



沖縄県病害虫防除技術センターのホームページにて、発生予報の詳細内容やその他情報を掲載しています。

○その他注意すべき病害虫（八重山群島）

作物	病害虫名	発生状況及び防除事項
さとうきび	サトウキビチビアザミウマ	一部地域でサトウキビチビアザミウマの被害が目立つほ場が見られた。発生初期に防除する。また、肥培管理を十分に行いサトウキビの生育を旺盛にする。
マンゴー	炭そ病・軸腐病・すす点病	せん定枝や残さは感染源となるので、ほ場外へ持ち出し処分する。
	ドクガ類・ナカジロフサヤガ・ハマキガ類、シャクガ類	新葉で発生が見られるので、施設内を見回り、早期発見・防除に努める。
	カイガラムシ類	せん定枝や残さは発生源となるので、ほ場外へ持ち出し処分するとともに、早期発見・防除に努める。

向こう1か月の天候の見通し
 沖縄地方（07/01～07/30）

予報のポイント

- 向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、高いでしょう。
- 太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の降水量は平年並か少ないでしょう。

1か月の平均気温・降水量・日照時間

	平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
沖縄地方	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（%）です			

数値予報モデルによる予測結果

1か月平均の地上気圧（左図）は、沖縄付近では平年より高い予測となっており、太平洋高気圧に覆われやすいでしょう。

上空約1500mの気温（右図）は、沖縄付近では平年より高い予測となっており、暖かい空気に覆われやすいでしょう。

7/1 - 7/28
 CONTOUR PSEA : 4hPa ANOMALY: 2hPa

地上気圧

7/1 - 7/28
 CONTOUR TEMP. : 3°C ANOMALY: 1°C

上空約1500mの気温

季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のバラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

	平均気温（1週目） 07/01～07/07	平均気温（2週目） 07/08～07/14	平均気温（3～4週目） 07/15～07/28
週別の天候	湿った空気の影響で雲が広がる所もありますが、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	太平洋高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
沖縄地方	低20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	低20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	低20 並30 高 50% 高い見込み
数値は予想される出現確率（%）です	<p>平均気温（1週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温（2週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>	<p>平均気温（3～4週目）</p> <p>低い確率（%） 50 40 40 50 高い確率（%） 以上 平年並も40 以上</p>

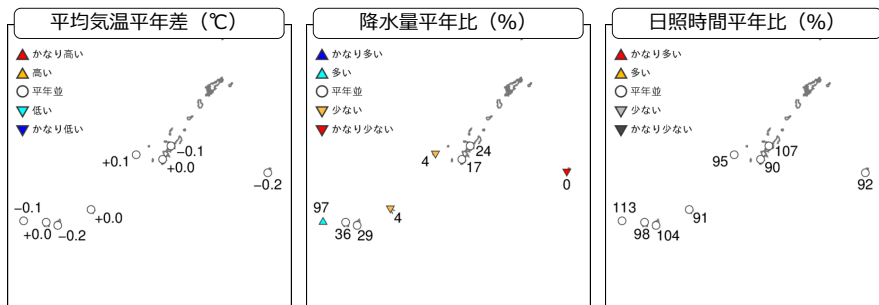
明日から1週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<https://www.jma.go.jp/bosai/forecast/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。

「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料 (<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>) をご覧ください。

文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

最近1週間の天候経過



（実況）06/22～06/28	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
沖縄地方	0.0℃（平年並）	30%（平年並）	100%（平年並）

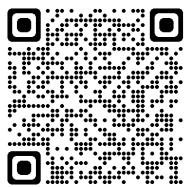
参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並か高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並か低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/okinawa1.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

